

関係一未来//愛について



STORY

第1幕 関係一未来

ファーレ立川に行きましたか?
猫は生きていますか?

映画「関係一未来」の上映会、
その後に催されたトークイベント会場、
監督と俳優が壇上に上がる。

第2幕 愛について

カメラはどこにあります?

映画「愛について」の上映会、
その後に催されたトークイベント会場、
監督と俳優が壇上に上がる。

作・演出

大鋸一正

出演

松本予右介

三浦千枝

司田由幸（砂の上の企画）

明樹由佳

制作

阿藤智恵

〈えんげき〉のじゅうじかん

日程

2017 / 9 / 23 (土) 13:00 | 16:00

2017 / 9 / 24 (日) 13:00

会場

cafe gallery MUSASHINO

180-0006 武藏野市中町3-10-6 T'sビル1F

サイトにて予約受付中

<http://ainitsuite.wixsite.com/kankei-mirai-ai/>

観劇料ほか

*観劇料はお気持ちをお包みください。

*お一人さまドリンク1オーダーをお願いします。

*開場は開演の30分前。

本公演について

劇作家というしごとを、このごろ、戯曲（台本）を書く、ということに限定せず、「げきをつくる」ことだと考えるようになりました。何が「げき」なのか、这样一个ところも、自分勝手に決めて、あれも「げき」だ、これも「げき」だ、と言い言いしながら暮らしていく、あんまりえんげきらしいことをやってません。けど、たまには、ちゃんとした戯曲があって、ちゃんとしっかり作りこんで、ちゃんとやりたい、という気もちもある。でも、今、自分で書くのはまだ「そのとき」が来てない、でも、やりたい。次にやるべきことは、決まっていて、「愛」だとわかつっていました。中身がわからないのに、なにかばらライフワークとしてこれをやるつもりで、「愛についての21の断章」というシリーズ名が決まっていました。そうして、さあ、何をやるのか、中身はなんなんだ？と思った時、目の前に小説家がいました。「書きませんか」と誘ってみました。大変なことを、たいそう軽々しく、言ってしまったのには違ひありませんけれど、実はそのとき、すでに確信いたものも、あったように思います。集まってくれた演じ手たちと、濃厚なじかんを積み重ねるごとに、確信は強まる一方です。

劇作家 阿藤智恵

作者より

戯曲の執筆はじめてのことですが、ほとんど制限のない状態で、好きなように書かせてもらっています。短編集『O介』から、第1幕は「関係一未来」を、第2幕は「ドーナツ」をモチーフにして書きました。作中に登場するファーレ立川と同じく「驚きと発見」をテーマに、小説にはできない表現を試しながら、信頼できる仲間との劇づくりを堪能しています。ご覧になった方にも「驚きと発見」を持って帰ってもらえるとうれしいです。

大鋸一正

